



PDA 即興型英語ディベート キーノートディベート (6月)

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2022年6月18日(土) 13:00-14:30

会場：オンライン (Zoom)

参加者：7名 (ディベーター5名、ジャッジ1名、オーディエンス1名)

はじめに PDA 代表理事中川智皓より、本日のキーノートスピーカーである樋笠堯士氏 (多摩大学経営情報学部専任講師・名古屋大学未来社会創造機構客員准教授・自動運転倫理ガイドライン研究会代表) の紹介がありました。

キーノートスピーカー紹介後は、早速チーム分けと論題が発表されました。



キーノートスピーカー紹介

ディベートの様子

キーノートディベートの論題は、Self-driving cars should be allowed to act in such a way that the people in the car is a top priority. (車の中にいる者の人命を最優先に行動するような自動運転車は許されるべきである。) でした。安全運転をサポートする自動運転車などを見ることが増えてきている中、車が建物と衝突したときや、歩行者がいるところに車が突っ込んだ際に、車の中にいる人と建物や歩行者とどちらが優先して守られるべきかについて、命の重要性などに着目しながらディベートが行われました。



POIの様子



ジャッジによるフィードバック

キーノートスピーチでは、樋笠堯士先生より、自動運転の現状や、倫理規定について、そして「人命保護」を優先すべきだとして、何を保護すべき「人命」と定めるべきかについてご説明いただきました。

また、質疑応答では、「自動運転はこれからさらに普及するのか、それとも衰退していくのか」「自動運転車の安全装置の技術はどの程度のものなのか」「自動運転車が事故をした際の責任は自動車会社にあるのか、部品を作った子会社にあるのか」などたくさんの質問が飛び交い、自動運転車の普及が推進されている背景や、自動運転車の最先端技術などについてもさらにご解説いただきました。

ディベートの中では、「そもそも人の命に優先順位をつけていいのか」という点について議論が展開されましたが、その点に関する現状の解釈についても、事故の発生リスクの観点などから説明いただき、ディベートを通して一度考えたことについてアカデミックなフィードバックを受けることで、更なる学びを得る機会となりました。

自動運転のレベル分けについて
国土交通省【別添3】

システムによる監視

- レベル5: 完全自動運転
常にシステムが全ての運転タスクを実施
- レベル4: 特定条件下における完全自動運転
特定条件下においてシステムが全ての運転タスクを実施
- レベル3: 条件付自動運転
システムが全ての運転タスクを実施するが、システムの介入要求等に対してドライバーが適切に対応することが必要
- レベル2: 特定条件下での自動運転機能(高機能化)
【例】高速道路での自動運転モード機能
① 遅いクルマがいれば自動で追い越す
② 高速道路の分合流を自動で行う
- レベル1: 運転支援
システムが前後・左右のいずれかの車両制御を実施
【例】自動で止まる(自動ブレーキ) (ACC) 車線からはみ出さない(LKAS)

ドライバーによる監視

自動運転の現状

4月Lv.4の道交法可決

Honda レジェンドが達成
レベル3で公道走行の社会実装は、世界初!

国土交通省 <https://www.mlit.go.jp/commo/120220541.pdf>

参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・初めて参加させて頂き、頭の筋トレができて、とても有意義な時間を過ごせました。英語でのディベート、昔アメリカに住んでいた頃は日常的にやっていたことだったのに、やはりやらないとダメになりますね。課題がたくさんありすぎて何から手を付ければ良いのかわかりませんが、初心に戻って勉強に励みたいと思っています。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。
- ・キーノートレクチャーがとても興味深く勉強になりました。
- ・皆さんの英語に圧倒されっぱなしでした。論点について詳しく知ることができ、非常に学びになりました。ありがとうございました。
- ・初めましての方たちとの和気あいあいとした英語でのディベートも楽しかったですが、ラウンド後のキーノートレクチャーが最高に良かったです！自動運転にまつわる技術面/倫理面での課題や現状を、専門家トップの方から直接学ぶことができるなんて、とても貴重でありがたいレクチャーでした。また参加したいと思います。そして、友人たちにも自信をもって声掛けさせてもらいます。この人数でもったいない🍀と思うほど良かったです。
- ・全く未知の分野の論題で戸惑いましたが、キーノートレクチャーで解説して頂き理解できました。とてもためになりました。有難うございました。